

コロナ禍における女性支援事業【盛岡市】

総事業費	5,000 千円
交付金額	2,500 千円

地域の実情と課題

- 実情（女性の就業・雇用）
 - ・第3次産業従事者が8割超（女性は「医療・介護、卸売・小売業、宿泊飲食サービス」の順に多く従事）
 - ・女性の労働力率は約50%で、全国平均50%とほぼ同じ傾向
 - ・女性の管理的職業従事者割合は17.6%で、全国平均約15%より高い傾向
- 課題
 - ・コロナ禍において様々な困難を抱えた女性を包括的な支援につなげるためには、各相談窓口の認知と相談につながる仕組の構築が肝要である。

事業の特徴

新型コロナウイルスの感染拡大によって社会とのつながりが希薄化し、不安や困難を抱えながら相談機関にアクセスできていなかった女性を主な対象として、女性相談の時間外実施や出張での相談、キャリアコンサルタントとの就労相談を実施するとともに、事業周知の一環及び生理の貧困への対策として生理用品の無料配布を実施した。

（既存の相談時間）月火金10時～17時/水木10時～20時/土日なし
（拡充した時間）月火金17時～20時/土日10時～16時※R4年度で終了

事業の効果

- ・平日夜間や土日に拡大して実施した女性相談について、73件（令和5年度）の相談があったことから、事業が浸透し、通常の時間帯に相談できていなかった女性を支援につなげることができた
- ・キャリアコンサルタントと協力して実施した就労相談（全6回）においても、毎回3～4件ほどの相談があり、役割を果たすことができた。

目的・目標

・新型コロナウイルスの感染拡大により様々な不安を抱える女性に対し、相談事業の拡充及び生理用品の無償提供と併せた相談窓口の周知を実施し、包括的な支援につなげるもの。

- <事業目標>
- 女性活躍推進事業参加者の意識や取組意欲の変容度
目標値 60% → 実績値 60%（達成）

連携団体

- 連携地方公共団体・関係団体・大学等との連携
市相談窓口（もりおか女性センター・子ども青少年課女性相談・盛岡くらしの相談支援室）、労働局（ハローワーク）、食糧支援NPO団体、市内子ども食堂、市内学校、医療機関など

今後の課題

本事業は、現時点で令和5年度以降事業としての実施予定はないが、相談機関についての周知効果の維持、向上や、生理の貧困への直接対応するような施策の検討が必要である。

事業の概要

コロナ禍における女性支援事業

事業期間：令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

内容：新型コロナウイルスの感染拡大によって社会とのつながりが希薄化し、不安や困難を抱えながら相談機関にアクセスできていなかった女性を主な対象として、女性相談の時間外実施や出張での相談、キャリアコンサルタントとの就労相談を実施するとともに、事業周知の一斑及び生理の貧困への対策として生理用品の無料配布を実施した。

効果：平日夜間や土日に拡大して実施した女性相談について、令和3年度を上回る相談があったことから、事業が浸透し、通常の時間帯に相談できていなかった女性を支援につなげることができたほか、キャリアコンサルタントと協力して実施した就労相談（全6回）においても、毎回3～4件ほどの相談があり、役割を果たすことができた。また、生理用品の配布を通して実施したアンケートにおいて、「今すぐ相談したい」「今後必要があるときに相談したい」と回答した割合が目標値（60%）に達した。

① 相談事業の拡充

○平日夜間及び土日の相談（時間外相談）体制を整備

【既存の相談時間】月火金10時～17時/水木10時～20時/土日なし
【拡充した時間】月火金17時～20時/土日10時～16時（週21時間増）

○就労相談と女性の居場所づくりを兼ねたサロン（ゆる～りサロン）の実施

6、7、9、10、12、2月の計6回、キャリアコンサルタントを招き女性が気軽に立ち寄れる居場所づくりと就労相談を兼ねたイベントを開催した。

○出張出前相談の実施

児童扶養手当現況届提出会場の設置に併せて実施したほか、本市中心部から離れた庁舎で実施した。

② 相談窓口の周知及び生理用品の無償提供

市相談窓口（もりおか女性センター・子ども青少年課女性相談・盛岡くらしの相談支援室）や市内子ども食堂、食料支援NPO団体、ハローワーク、学校等で、希望者に対し生理用品及び相談窓口を周知するチラシを配布した。配布数は8,016セット。

（利用者の感想）

- ・無職で毎月負担になっていたのが助かります。
- ・生理用品は自分の小遣いから。とても助かります。
- ・生理の貧困についてみなさん問題を抱えていたものの言い出せずにいたということが分かった。

事業周知チラシ

盛岡市
コロナ禍における女性支援事業のお知らせ

盛岡市では新型コロナウイルスにより、様々な不安や悩みを抱える女性に対し、市での相談窓口を確保した相談の拡充及び生理用品の無料配布を行います。

女性相談について
もりおか女性センター及び盛岡市子ども青少年課の女性相談では、女性が抱える家庭や職場、身の周りのさまざまな悩みを、専門の相談員が一緒に考えます。相談は無料です。お気軽にお電話ください。

生理用品の無料配布について
もりおか女性センターでは、生理用品の無料配布も実施しております。お気軽にお申し付けください。

～お問い合せ～
盛岡市市民生活課生活福祉係 019-626-7325

盛岡市
コロナ禍における女性支援事業のお知らせ

女性のための相談
～いつも気持ちよく生活したい～
～困ったときは、もりおか女性センターへ～
～暮らしの悩みを一緒に考えよう～

生理用品の無料配布
～生理用品の困りごとを解消しよう～
～困ったときは、もりおか女性センターへ～



就労相談(ゆる～りサロン)の様子



配布用生理用品のセット